



①

1



②

2

とうに梅雨入りしたというのに晴天続きの毎日ですが、そろそろ本格的な梅雨シーズンを迎えそうです。この日は静岡市清水区の浜田小学校を訪れました。目的は浜田小学校前プロムナードを花で飾ることにより、美しい地域、優しい街づくりに貢献している「美浜会」の活動取材のためです。(写真①)
小学校正門前にあるシンボルツリー周りに美浜会のメンバーが集まってまいりました。(写真②)



③

3



④

4

美浜会会長である土屋典通さんは昭和20年生まれの71歳。元々、旧静岡市出身ですが、38年前の結婚を機に現在の清水区浜田町に移り住み現在に至っています。事情により勤め先を早期退職されましたが、当地区の民生委員や社会福祉協議会委員として活躍され、趣味はバイク、酒、スポーツ観戦、花、写真と多岐にわたります。昨年はスポーツ競技の一つ「ペタンク」でねんりんピック長崎大会にも参加されました。(写真③)

美浜会(みはまかい)は丁度15年前の平成14年4月に発足しました。自治会老人会の集まりを土屋さんが引き継いだもので、主な活動は6月と11月の年二回、浜田小学校前プロムナード(遊歩道)の花壇を夏用、春用の花に植え替える作業です。花の苗は市から提供を受けたり、自家栽培しているものを持ち寄ったりします。現在は男性4名、女性11名の計15名、平均年齢73歳の会員で構成しています。この日は12名の会員が集まりました。(写真④)



⑤

[5](#)

⑥

[6](#)

作業前に土屋さんから当日の作業内容の説明があります。(写真⑤)
 会員の皆さんも土屋さんの指示にしたがい作業に入ります。(写真⑥)



⑦

[7](#)

⑧

[8](#)

プランターごとに花の種類、色を選別しながら配置を決めていきます。手を振る千葉さんは10年ぶりの復帰で仲間も嬉しそうです。(写真⑦)
 男性の山本さんは花壇の方から配置決めをしています。(写真⑧)



⑨

[9](#)

⑩

土屋さんも花壇での花の配置決めを手際よく行っていきます。(写真⑨)
 プランターの花配置もほぼ終わったようです。(写真⑩)



⑪

[11](#)

⑫

花壇には美浜会の標語が掲示されています。
 「咲かそうよ みんなできれいな花を 心休まる浜田の地域 美浜会」(写真⑪)
 「美しい地域 優しい街づくり まず大人が子供の見本になれるといいですね 美浜会」(写真⑫)

優しい気持ちにあふれていますね。



⑬

[13](#)



⑭

[14](#)

この花壇に咲くのはゼラニウムの花ですが、大きく育ちすぎてしまったようです。(写真⑬)
プランターへの植え込み作業は車付き椅子に座って行います。座ったまま少しずつ移動するのに大変便利！(写真⑭)



⑮

[15](#)



⑯

[16](#)

最年長者80歳の泉谷さんは美浜会発足時からの会員です。笑顔が素敵ですね。(写真⑮右が泉谷さん)

男性の山本さんは7年ほど前に入会されました。手にするのは「コキア」というほうき草の種類で、秋になると葉全体が緑色からあざき色に変色するのだそうです。(写真⑯)



⑰

[17](#)



⑱

[18](#)

花の植え付けを終えたら最後は水やりです。このところ連日晴天が続いていたため土が乾燥しており、十分な水を与えてやります。(写真⑰)

この日の作業を終え、会員が集まったところで土屋さんからはアグロステンマ(ナデシコ科)の花の種がプレゼントとして皆さんに配られました。(写真⑱)



⑬

19



⑭

20

美浜会は第12回花壇コンクール(静岡市花と緑のまちづくり協議会主催)で「まちかど花壇景観賞」を今春受賞しました。(写真⑬)

該当写真のパネルを見せていただき、会員の皆さんもその時の喜びを分かち合っておられました。パネルとともにもう一度全員でパチリ！(写真⑭)

最後に土屋さんからは会員同士の親睦のために暑気払いの会の企画を提案されました。花を愛する心と優しい街づくりの奉仕精神にあふれる会員への思いやり。土屋さんの美浜会への思いは、活動を継続してくれる後継者の育成へとつながります。

取材：静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章